



# きらくなたより

発行者 鈴木 忠好

発行月 R2年4月

No. 35

どんな事があっても  
春は来るのです！

大地震の時も、放射能に怯えた時も、コロナが蔓延している時も変わりなく、春が来て、桜が美しく咲きました。

フキノトウも15センチほどに伸びてよく目立ち、食べるには育ちすぎですが、ある場所がよくわかります。来年の食糧まで覚えていられれば良いのですが・・・。

近所の子供達が、小学校や中学校で入学式を迎えることができ、一人ひとりそれぞれ進級し、元気に通学している様子を見ると他の家の子供ながら、本当に嬉しくなります。

子供達は、いつの間にか大きく成長していきます。そして、高齢者は言うに及ばず、親はいつの間にか老けて行きます。

どんな事があっても春が来るのと同じこと。自然の摂理とでもいうのでしょうか。

さて、わが「きらくな会」もいつの間にか4年目を迎える事になりました。

行事等も定着し、今年度も新しい仲間が加わり、生き生きと活動が始まりました。

会員も楽しみつつ、少しでも町内の方々の役に立てればと思っております。



**不要不急の外出**は控えるよう  
とのお達しが出ています。

私たち高齢者は、何年も前から用のない生活に慣れ親しんでおりまして、不要不急の外出ということもあまりありません。

たまに出かけることがあったとしてもダイジョウブ！

1住所に2枚ずつマスクが、国から送られてくるそうです。

「うちは家族が5人なんですけどお・・・？」

でも、ダイジョウブです。ちゃんと洗濯ができて、みんなが使えます。なんと有難いことでしょう。国が466億円もかけて国民に送ってくれるとのこと。

都会の大家族にも、ポツンと山奥一軒家にも均等に2枚ずつ・・・。

俗に「アベノマスク」というそうで、有難くて涙がでます。

466億!? 洗濯可能マスク2枚!?

**ああ・・・!**



暖かい春の日差しを浴びて、じゃが芋植えをしました。

大きな芋を袋に一杯詰め込む、子供たちのにこにこ顔を思い浮かべ爽やかな汗を流しました。今年も、大きな芋がゴロゴロ顔を出すことでしょう。楽しみ楽しみ！

